

競技注意事項

1 競技事項について

本大会は令和7年度日本陸上競技連盟規則により行う。

2 練習について

- (1) 本競技場での練習は、両日とも8:30までとする。それ以降は補助競技場を利用すること。ただし、跳躍および投てき種目の練習（用具を持たずにターンや助走の練習は可）の補助競技場の使用は禁止とする。

3 招集について

- (1) 選手招集所は、第4ゲート付近のスタンド下室内走路に設ける。
- (2) プログラム記載の招集開始時刻までに招集場所に集合すること。招集開始時刻より点呼を開始する。その時、競技者本人がナンバーカード・スパイク等の確認を受けること。
- (3) 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、他の種目に出場していて招集時刻に間に合わない場合は、1種目目の招集完了時刻までに競技者係（第4ゲート付近のスタンド下室内走路）にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
- (4) 招集所から競技場所への移動は、係員の誘導に従うこと。
- (5) 混成競技の第1日目、第2日目の最初の競技種目については、競技日程記載の時刻とする。ただし、以降の競技種目は混成競技役員の指示に従い、混成控室に集合すること。
- (6) 欠場をする場合は、招集完了時刻までに「欠場届」に必要事項を記入し、第4コーナー付近のスタンド下室内走路の競技者係に提出すること。ただし、事前にわかっている場合は、「欠場届(団体用)」に記入の上、該当種目実施日の8:30まで上記と同場所に提出すること。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは選手登録時に配布されているものを、そのままの形でユニホームの胸部と背部に着けること。ただし、跳躍種目に出場する選手は、胸部または背部のいずれか一方でよい。
- (2) トラック競技に出場する選手は、選手登録時に配布されている腰ビブスを右腰につけること。ただし、800m以上の種目については、招集時に配布される通し番号の腰ビブスをつけること。
- (3) 今大会は、大学生についてのみ前年度学連登録ナンバーの使用を認める。

5 トラック競技での不正スタートは1回で失格とする。

6 リレー競技について

- (1) リレーチームの編成は、各ラウンドとも「リレー・オーダー用紙」に記入し、招集完了時刻の1時間前までに第4コーナー付近のスタンド下室内走路の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
- (2) リレーに出場するチームは、同一のユニホームを着用すること。
- (3) リレーチームの編成メンバーについては、日本陸連競技規則 TR24.10 に則る。

7 競技用具は、原則として会場備え付けのものを使用する。

8 スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投においては、12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。

9 シューズの靴底（ソール）の厚さについて

- a シューズとは、スパイク、ノンスパイクシューズを含むものである。
- b トラック・フィールドすべての種目について、20mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。

10 競技運営上、下記の制限や競技方法を用いる。

- (1) 5000mW は、3000m を男子は23分以内、女子は25分以内に入れなかった時点で競技を中止する。
- (2) フィールド競技において、参加人数が多い場合にはパスラインを設けることがある。
- (3) 投擲種目およびハードル種目は、全て一般の重量および高さ／インターバルで実施する。
- (4) 跳躍競技のバーの上げ方を次の通りとする。ただし、グラウンド・コンディションにより変更する場合がある。

種 目	性別	練 習		バ ー の あ げ 方								
走高跳	男子	1.65	1.80	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	1.98	2.01	…
	混成男	1.35	1.60	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	1.58	1.61	…
	女子	1.35	1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	………	
	混成女	1.10	1.30	1.15	1.18	1.21	1.24	1.27	1.30	1.33	………	
棒高跳	男子	2.20	4.00	2.40	2.60	2.80	3.00	3.20	3.30	3.40	………	
	混成男											
	女子	2.00	2.80	2.20	2.40	2.60	2.70	2.80	2.90	………		

11 表彰について

- (1) 表彰は各種目3位まで行う。各種目3位までの入賞者は成績発表後に本部前で表彰を行うので、表彰者控え室(玄関ロビー)に集合し競技役員の指示に従うこと。出席できない場合は代理を立てること。
- (2) 優勝者には福井陸上競技協会より記念品が贈呈される。

12 選手の移動、応援およびテント設営について

- (1) 係・役員以外の本部前の通行は禁止とする。競技役員誘導の下退場する場合は、その限りではない。
- (2) テント設営は、補助競技場のトラック周りやメイン競技場芝スタンド裏側など、周辺の通行に支障がない箇所に設置を認める。競技場と県営体育館の間の円芝生への設置は認めない。また、メインスタンドダックアウトについては、雷雨時や熱中症対策など共有のスペースとして使用するため、チームでの場所取りやテントの設営などの占有使用を禁止する。
- (3) メインスタンドでの集団応援や立っての応援及びテント設営は禁止する。
- (4) 更衣室にシートを敷いての場所とりや独占は禁止する。また、更衣が終了次第すぐに退出すること。
- (5) 「のぼり」「横断幕」の設置はメインスタンドの最上段のみとする。

13 トラック種目の衣類運搬について

100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類について役員がフィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。

14 助力については、日本陸連競技規則 TR6 に則る。

主催者が指定したコーチングエリア以外での助力は禁止とする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技場内に持ち込むこともできない。

15 肖像権侵害・不審者対応について

- (1) 競技会場で選手の家族や学校関係者(生徒含む)がカメラ・ビデオ・携帯電話等の撮影機器を使用する際には、各チームまたは各学校から発行された撮影許可書を携帯された方のみ撮影ができる。なお、ネームホルダーや名札入れなどを使用し係員から見えるようにつけるようにすること。撮影許可書を身につけていても撮影禁止エリアでの撮影はできない。また、メインスタンド中央通路より前と芝生スタンドはスマホ、タブレットのみ撮影可能。ビデオカメラ、デジタルカメラ、一眼レフカメラなどは中央通路より上部のみ撮影可能とする。
- (2) 報道等で撮影を行う場合は、必ず事前に受付をして、主催者が用意したビブスを着用すること。
- (3) 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求められることがある。事案によっては、警察に引き継ぐこともある。
- (4) 観戦をしている中で、競技運営に重大な支障をきたすような発言やヘイトスピーチと取られる発言や看板等の掲示があった場合、または他の観戦者に迷惑を掛けていると判断した場合は退場を求める。